

あけましておめでとうございます。みなさまはどんな新年をお迎えでしょうか。年男・年女のお二人に、今年の抱負を語っていただきました。

つながりを大切に

杉沢

充さん（本堂東部）

「地域の方々とともに、ネギやソラマメ、大豆、カボチャ、水稲などの生産に勤しんでいます。多種目の栽培をしているので、年中農業に没頭しています。」

私が高校生の頃に国の減反政策が始まりました。それまでは「農家の息子は農学校に入って農業を継げば大丈夫」と言われていたのですが、農業を取り巻く環境が大きく変わったことで、専業農家を目指す人も減少したように感じます。私自身も高校卒業後は会社で働く傍ら農業に従事していましたが、その頃は会社で働いている方が楽しかったですね。

転機になったのは、地域で農業生産法人を立ち上げたことです。個人所有で農業経営を続けることが困難な方も増える中、『地域で協力して頑張ろう』と活動を始めました。最初は共同での作業に戸惑いもありましたが、メンバーでアイデアを出し合ったり、他から情報収集したり、試行錯誤を重ねてきました。その結果、作物の生育状態が良くなり、生産量が増えるなど目に見える成果が

出てきました。今から次の収穫が楽しみですですね。

地域で共同での農作業をするようになって、地域の方々との付き合い方も変化が起きました。以前は道で会って挨拶する程度のつきあいしかなかった方々とも、今では朝から晩まで一緒に作業をしています。休憩の時には世間話にも花が咲き、仕事の楽しみになっています。地域の若い世代とも交流する機会も増えて、嬉しい限りですね。

『若者の農業離れ』という話題をよく耳にしますが、今の農業環境を考えるとやむを得ない部分もあると感じています。それと同時に、農業を継承すること以外にも、次の世代に対して、地域を守ってほしいという思いもあります。そのためにも、私たちがこれまで培ってきた地域としての文化やつながりを、若い世代に伝えていきたいです。

今年も還暦を迎えます。還暦祝いと旧友と再会できるのも楽しみの一つですね。昔話を肴にみんなでワイワイ・ガヤガヤと楽しく一杯なんて

。ただ、健康に気を使う年代になりましたので、『みんな、まめであらな』と今から気になります。

仕事をするにも、遊ぶにも、何事も体が資本です。私より年配の方が頑張っているのを見ると『まだまだ負けられないなあ』と気が引き締まります。今も健康であることに感謝をしつつ、新しい年もマイペースに過ごしていきたいですね。』



■杉沢 充さん(写真中央)

子どもたちの成長を感じながら

伊藤 瑠美子さん（上 鎌田）

「我が家には今年小学校に入学する長男（6歳）を筆頭に、長女（3歳）、二男（1歳）の3人の子どもがいます。みんな未っ子がかわいいみたいです。よく遊んでくれています。特にお兄ちゃんが『いないいないばあ』とか、色々相手してあげているようですね。子どもたちの様子を見てみると、やっぱり年長さんになると違うなと感じます。最初の頃、お兄ちゃんは園の発表会で恥ずかしくて踊れなかったこともありまして。しかし今は、

『みんなとの共同生活のルール』が分かってきているみたいで、できる、できないは別として、保育園でがんばっているようです。

また、園から帰宅した後、通園バッグから『フックとスプーン』は台所で洗うもの、こっちは洗濯物』と分けてくれます。3人とも保育園に通っているのです、みんなの分をまとめてやってくれます。

保育園に入って色々な事を覚えてきますが、特に『お友達ができる事は自分もできるようにしたい』と、家でも色々勉強するようにしました。お友達の影響や存在って大きいなと思うと同時に、そういうお付き合いも出来るようになったんだなと嬉しく思っています。

お姉ちゃんは、絵を描いたり、歌ったり踊ったりして遊ぶのが好きなようで、知っている歌がかかると歌って踊って見せてくれます。二男は負けず嫌い。お兄さん、お姉さんと一緒に事をしようとしますが、まだまだ1歳。足元にもおよびません。お兄ちゃんはスポーツが好きそうです。本当にやりたいことはまだ決まっていないようですが、色々なこと

にチャレンジしてもらいたいです。

3歳くらいから、スキーを履いて私と一緒に滑ったり。ここ2年ほどは行けずにいましたが、小学校ではスキーの授業もあるので、その前に連れて行ってあげたいです。私の親も、私が幼稚園に入ったあたりから連れて行ってくれました。自分が親にしたら役に立ったこと、楽しかったことを、今度は私が子どもたちにしてあげたいと思っています。

長男の小学校への入学は、本人は楽しみにしていると思うのですが『学校生活になじめるだろうか』『登下校は大丈夫だろうか』など、親としては不安もあります。義務教育になるので、保育園の入園とは違う気持ちです。その反面、小学校に通ったら、また少しずつ、自分でできるようにすることも増えるのかなと期待もしています。失敗することも多々ありますが、少しずつ自分のできることを増やしてもらいたいです。これから小学校に行き、スポ少等忙しくなるとなかなか3人の子どもたちが時間を共有して遊ぶことが少なくなると思うので、今はその時間を大切にしつつ、健康で過ごしたいと思います。』



■写真右上から伊藤瑠美子さん、^{ひかる}輝ちゃん
写真右下から博貴ちゃん、明香里ちゃん

2013年はこんな年に